

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

臨時号

令和元年9月9日



新世代血管撮影装置

『Azurion 7-B12』

令和元年9月から稼動開始

待望の最新鋭 Cine-Angio 装置 「Azurion 7 B12」が稼動します。

循環器内科部長
山内 雅人

昨年度後半から心臓カテーテル検査に使う Cine-Angio 装置の作動が不安定で、夜間・休日の緊急受け入れを制限せざるを得ない時期もあり、ご迷惑をおかけしました。只今、最新鋭の装置に入れ替え工事中です。

そして、いよいよ9月12日から、新しい装置が稼動します。

撮影した画像の参照機能も優れ、造影剤使用の必要性が減少したり、放射線被曝量を抑えることができるなど、より負担の少ない検査が可能で、積極的な冠動脈検査・治療ができるようになります。

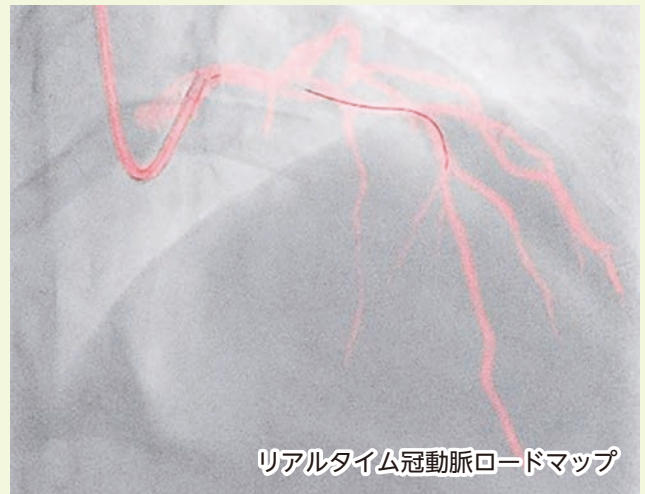
当院でPCI（カテーテルによる冠動脈治療）を開始して、初めてのAngio装置の更新で、あわせて血管内超音波装置も解像度の高いもののが使えるようになり、より質の高い診療で、地域医療に貢献したいと思っています。

CTによる外来での評価なども含め、積極的に迅速な対応に努めて参ります。冠動脈に問題がありそうな患者さんがいらっしゃいましたら、どうぞ、積極的にご紹介ください。

無症状でも、冠動脈危険因子が多い方は、ぜひ詳しい評価をお勧めします。



治療風景



リアルタイム冠動脈ロードマップ



操作コンソール使用風景



操作コンソール

充実した放射線機器、スタッフが 地域医療のニーズにお応えします。

中央放射線部長
安藤 嘉宏

千葉ろうさい病院放射線部門は放射線検査を担う中央放射線部と、主に放射線治療を担う放射線科に分かれて診療を行っています。各モダリティには専門技師を配置し、安全性や専門性に特化し質の高い診断画像を提供しています。なお、乳房撮影においては全て女性技師が撮影しています。

今年度9月に稼動する血管撮影装置（心臓用DSA装置）は、従来型の装置に比べ50%以上の被ばくを低減しながらも高画質な画像により、高度な血管内治療が可能になります。

また当院では最新DSA装置のみならず、3TMRI 2台、64列CT 2台、放射線治療装置等の大型機器を保有しています。

これまで以上に地域連携を強化し患者サービスの向上に努めてまいりますので、これからも千葉ろうさい病院をどうぞよろしく願いいたします。



放射線治療装置



3TMRI装置



64列CT

千葉ろうさい病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々、勤労者の方々に高度で安全な医療を提供します。

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。
2. 急性期医療・予防医療を担い、基幹病院として地域医療に貢献します。
3. 働く人々の健康を守り、社会復帰を支援します。
4. 豊かな人間性と高い技能を備えた医療人の育成をはかります。
5. 明るく向上心に満ちた職場をつくります。

大幅な被ばく低減と高画質を両立した 新世代血管撮影装置が稼動を開始します



当院では2019年9月より、大幅な被ばく低減と高画質を両立した新世代血管撮影装置 **Azurion 7 B12** (蘭フィリップス社製) を導入します。

新世代血管撮影装置 “Azurion” のメリット

MERIT

1

Clarity技術搭載により、従来装置に比べ
50%以上の被ばく低減

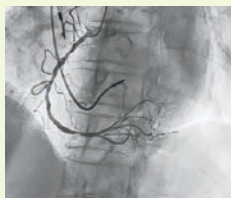
X線被ばく



MERIT

2

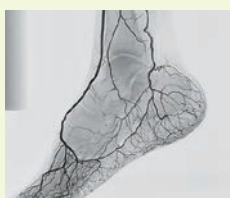
より高画質な装置になり、複雑な疾患も治療が可能に



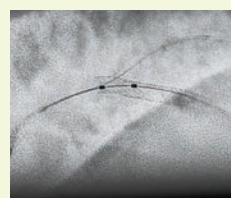
右冠動脈



左冠動脈



下肢造影



ステント強調画像

MERIT

3

シンプルな操作性で検査時間が
短縮し、**患者さんの負担を軽減**



最新鋭の血管撮影装置の導入により、患者さんの負担軽減とより正確な治療の両立が可能になりました。

これからも地域の医療に貢献できるよう努めて参りますので、血管造影検査が必要な際は、当院までご相談ください。